



主な内容

新年のご挨拶

特集—— 病院経営管理に寄与する診療情報管理士

トピックス—— 附属病院と附属内丸メディカルセンターで
クリスマスのサプライズイベントが行われました

募金状況報告

フリーページ—— すこやかスポット 歯学講座No.26

「『健口』を維持するためにオーラルフレイルを予防しよう!」

表紙写真：笑顔でプレゼントを配るサンタクロースとトナカイ（関連記事P.9）

新年のご挨拶

理事長 祖父江 憲治



明けましておめでとうございます。本年の正月は例年になく穏やかな天候にめぐまれ、皆様方におかれましては御家族共々に健やかな新年を迎えられたことと存じます。

本年は本学にとりまして、大変に課題の多い年となります。大学経営の問題、学部によっては入学定員割れをきたしている事、医師の働き方改革などにより医師不足をきたしている事、これも経営に関連しますが、全国的にコロナ禍以降の患者数減と医薬品や医療機器の高騰等々、数え上げれば切りが無い程に諸問題が山積しています。これら難題の一つ一つを解決しながら前へ進むことが重要となります。

教育系と医療系さらに事務系の全職種の皆様方に共通した大学経営の問題につきまして、少し掘り下げ話をさせていただきます。皆様方は各職場で御活躍頂いておりますが、これからはさらなる業務の効率化と業務経費の節減を、これ迄以上に図って頂くことをお願いすることになります。皆様方の職場内で、業務の省力化と業務経費の節減が可能な点をもう一度見直して頂き、さらに組織として改革が必要と思われる事項は、所轄部署へ提言頂ければ幸いです。迅速に対応してまいります。もちろん、大学側から皆様方に今後お願いすべき事もあるかと存じますが、大学構成員全員が困難な時

期を乗り切るため、新たな意識改革が必要だと考えています。

本学の歴史を振り返ってみますと、貧困であった北東北の医療を救済するため、学祖の三田俊次郎先生は医学校（当初、医学講習所）を造られ、同時に医師のみで医療は成立しないとして産婆看護婦学校（養成所）が併設されました。北海道・東北でのチーム医療の幕明けでした。つまり、困難な時にそれを突破しようとする新たな発想が生まれ、新たな飛躍に繋がったものです。本学の現状も同様です。大学としては今後の躍進へ向け新たな提案をし、かつ実行に移してまいります。皆様方からもこれ迄になかった新たな視点から、ご自身を見直しご自身の力で変えていく、これこそが意識改革だと思いますが、個人のみならず組織も同様に意識改革することが出来ると考えます。

新年にあたりまして、本学が今後に向けた大きな変更点に差し掛かっていることをご認識頂き、先述致しましたように大学としては当然のことながら、皆様方お一人お一人におかれましては意識改革をお願い申し上げます。

謹賀新年

学長 小笠原 邦昭



新年、明けましておめでとうございます。教職員の皆様方におかれましては、御家族の皆様と健やかな新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は学校法人岩手医科大学の現役理事長でありました小川彰先生がご逝去されました。学内は悲しみに包まれました。個人的にも40年間に渡り師事した師匠の死は受け入れがたいものでした。しかし、悲しんでばかりはいられません。小川彰先生のことを継いで、使命である学校法人岩手医科大学の歩みを進めていく所存です。

さて、昨年6月と12月に学校法人岩手医科大学における財政状況と今後の財政再建についての方針を全職員の前で計6回、述べさせていただきました。ここに詳細を記載するつもりはありませんが、着実に実行いたしますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

一方で、昨年の学長就任の抱負でも述べたように、本学は大学でありますので、研究は必須であります。私の主観では、現在の岩手医科大学の研究の発信元は医歯薬総合研究所の各部門であることが多く、当大学の研究を発展させるためには、ここを発展させることが、最も合理的ではないかと考えます。本来医歯薬総合研究所は各学部と乗り入れし、共同して研究成果をあげるために作られた部門であります。しかし、共同研究を行っている部署はわずかであり、もったいなさを感じます。医歯薬総合研究所を抜本的に見直し、研究のためのプラットフォームとし、看護学部も含めた本来の総合研究所として、各学部、各部署との共同研究を行い、科研費も含む公的競争研究費の獲得、企業との共同研究をしていただきたいと思っております。さらには、企業との共同研究を社会実装し、学校法人としての運営資金獲得まで考えております。

矢巾附属病院、内丸メディカルセンターの改革、改変はすでに始まっております。稼働額の増加、コストの削減に関しては、まだまだできることが多くあり、これを着実に実行いたします。しかし、この実行には

多くの既成概念の打破が必要です。各部署がこれまで作ってきた方法を180度変えなければならないこともあります。病院職員に置かれましては、すでに多くの努力をいただいておりますが、引き続きご協力をお願い申し上げます。

医療系大学の教育に関し、私は「研究と臨床のやり方を教育する」ことだと述べてきました。「確かな研究基盤とすぐれた臨床を行う場がなければ、教育はできない」という信念があります。もちろん教育の対象は学部学生のみならず大学院生および若手医療者も含まれます。しかし、現実的には医療系大学は国家試験の合格率で世間からは評価されます。この点を十分ご理解し、日夜学生指導に注力されている教員・職員の皆様には頭が下がります。一方で、現在の少子高齢化と高い大学進学率のなかで、「国家試験の合格者を各段位上げる」魔法はありません。「われわれが入学させた学生を留年させず、卒業させる」ことを着実に進めることしか方法はないと考えます。働き方改革のなかで、この負担を教員・職員の皆様には強いることは大変心苦しいのですが、よろしく願いいたします。

学長に就任しまだ1年も経っていませんが、大事にしてきたことがあります。それは「現場主義と情報開示」です。「なるべく現場から情報を集め、何をすれば現場がよくなるのか？」を考え、「問題点があれば、解決方法とともに開示する」ことです。この方針は今後も継続するつもりです。加えて、政治・行政の流れを理解することです。この流れにそのまま乗るつもりはありませんが、世の中の流れを見誤ると、危機に陥ることは明白です。この辺は十分注視していきたいと思っております。

現在、学長専用ご意見箱を運用中ですが、多くの方に私が気づかない問題をご教示いただいております。皆様と一緒にこの大学をよくすることだけを考え、努力してきたいと思っております。ご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

特集

病院経営管理に寄与する 診療情報管理士

医療の安全と質の向上、病院の経営管理に深く関わる診療情報管理士。当院ではわずか4名で年間約20,000人の退院患者さんの情報を手掛けています。本号では、診療情報管理士にお話を伺いましたのでご紹介します。

診療情報管理士とは？

診療情報管理士とは、診療記録および診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門的な職種です。

診療記録に含まれている情報は診療の継続、医療従事者の研究および教育、病院経営、公衆衛生上大変重要です。その価値を最大限発揮させることができるよう公的な記録として管理します。

病院機能評価（日本医療機能評価機構が病院の診療やケアを第三者の立場から評価し、病院の質を向上させ、国民が安全・安心な医療を受けられる環境を整備することを目的として行う審査です）の基準では、退院患者2,000名につき1名の担当者の配置が望ましいとされています。2003年からは、診療情報管理士の英語表記をHIM（Health Information Manager）とし、国際的な活動を目指すことになっています。

■ 主な業務

医療現場で用いられる
診療記録の管理や保管

DPC（診断群分類包括評価）
コーディング

診療記録質的・
量的監査

診療情報抽出

診療記録開示

電子カルテ登録文書管理

院内死亡事例調査

個人情報関連事項

■ 診療情報管理士になるためには？

診療情報管理士認定試験に合格する必要があります。この試験は年に1回実施され、受験資格は以下の2通りあります。

1 一般社団法人日本病院会指定の大学・専門学校で学び、所定の単位を取得する

2 指定校以外の大学・専門学校を卒業した後に2年間の通信教育を受講する

※現在、病院に勤務している者は、当分の間、高卒者でもよい。また、一部国家資格を有している者は通信教育を1年で終了することができる

2024年の試験では受験者数2,310人に対して合格者が1,682人で合格率は72.8%となっています。大学・専門学校で学んで所定の単位を取得した方や一部の国家試験を有して通信教育を修了する等、しっかり学習してきた方だけが受験できる試験としては合格率は低く、難易度は比較的高いといえます。

医療情報管理部長にお話を伺いました

附属病院には7つの部門が置かれ、「医療の質・安全管理部門」の中に医療情報管理部があります。医療情報管理部には診療情報管理室とシステム管理室があり、診療情報管理士は診療情報管理室の中に配置されています。医療情報管理部長の櫻庭教授に、診療情報管理士についてお話を伺いました。



医療情報管理部

櫻庭 実 部長 (形成外科学講座 教授)

■ 診療情報管理士の当院での活躍

皆さんは「診療情報管理士」と聞くと、倉庫でカルテの番をするヒマな事務職ぐらいに思うかも知れませんが、カルテ管理は業務のごく一部に過ぎません。英語名 Health Information Manager に表される様に、病院の医療情報のマネジメントがその業務です。実際にはカルテの監査、データ分析、個人情報保護などを通じて、医療の安全と質の向上、病院の経営管理に深く関わっており、年間約 20,000 人の退院患者の情報をわずか 4 名（矢巾 3、内丸 1）の診療情報管理士が手掛けています。

■ 診療情報管理士が注力している DPC コーディング

診療情報管理士業務の中で病院経営に直結するものの一つが DPC コーディングです。

DPC とは… *Diagnosis Procedure Combination* の略で、傷病名と手術や処置等の診療行為、合併症（副傷病）の有無や重症度等の医師の記載をもとに、入院患者ごとに「診断群分類」に分ける手法です。

当院は DPC 病院のため支払いを受ける基準の DPC が収益のカギで、コードのつけ方によって収益に大きな差が出ます。適切なコーディングには医師の記録から診療内容やコーディング条件への合致を読み解く高度な知識が必要で、資格を持った診療情報管理士が行うのが望ましいのですが、当院は診療情報管理士数が少なく全てには手が回っていません。そこで現在は過去 5 年分の診療報酬請求で出来高点数と請求点数の差が大きかったものにつきコーディングの見直しを行っています。診療情報管理士が再コーディングした約 2 億 8 千万円分から、順次医事課で再請求を進めています。2024 年 12 月末現在で 4,100 万円の追加支払いを受けており、最終的には 1 億円分の経営改善が目標です。

■ 診療情報管理士に期待すること、今後の展望

上記の見直しと再請求は二度手間と言わば無駄な作業であり、本来は初回に適正なコーディングによる請求が行われるべきです。しかし 20,000 件の適正コーディングには膨大な時間と人手が必要で（矢巾なら診療情報管理士 1 人が月に 560 冊のカルテを隅々まで読む作業を想像してください！）、診療情報管理士の増員は不可欠です。増員によりコストが発生しますが、これは診療録管理体制加算のアップで補う事が可能です。現在は入院初日に加算 2（30 点）を算定していますが、基準（退院 2,000 名に管理士 1 名）を満たせば加算 1（100 点）が算定できる様になります。増員とともに無駄な作業をなくし、診療情報管理士本来の業務を遂行することで、特定機能病院に求められる医療の質や医療安全の向上、データ分析による更なる経営改善など病院運営に寄与することが期待されます。今後の診療情報管理士の方々の活躍にご期待ください。

Q ご自身の仕事内容について教えてください。

- 診療記録開示
- DPC コーディング
- 個人情報管理関係業務

Q 診療情報管理士を志したきっかけを教えてください。

派遣職員時代に診療情報管理室勤務となったことがありました。知識不足を痛感し、診療情報管理士の資格取得を目指し勉強すれば、知識を得られると思い志しました。

Q 普段の仕事の中で大変なことは？

DPC コーディングは病院の収入に係る部分となるので、正しいコーディングを実施すること、診療報酬改定時や新規の高額薬剤等に関しては情報収集を行い対応できるように心がけています。また、個人情報管理はカルテ開示以外にも院外への個人情報の持ち出しのご相談等多岐にわたります。ご質問に対して的確なお答えができるように、知識習得を目指していきたいと思います。

Q 今後の目標

2026年には日本診療情報管理学会が岩手県にて開催予定となっております。当院は事務局病院となっておりますので、全員で成功に向け頑張っていきたいと思います。



病院情報管理課
高橋 葉子 診療情報管理士



病院情報管理課
小原 壮馬 診療情報管理士

Q ご自身の仕事内容について教えてください。

- DPC コーディング
- 個人情報管理関係業務
- 診療記録質的監査
- 診療記録量的監査
(CT・MRI・RI、PETCT・カテーテル・結石破碎・血管造影・手術・内視鏡・麻酔)
- 電子カルテ登録文書管理

Q 診療情報管理士を志したきっかけを教えてください。

大学在籍時に医療事務の仕事に就きたいと考えていました。調べていく中で診療情報管理士という職種があることを知り、興味を持ったことがきっかけです。

Q 普段の仕事の中で大変なことは？

診療記録監査では、診療記録の記載統一・不備減少を目的に行っております。監査結果を委員会で報告するだけでなく、「診療情報管理室だより」を作成し院内へ配布しております。監査を行うことで、病院機能評価や適時調査での診療記録記載不備による返還防止へ繋がると考えております。病院の収入に係る部分になりますので責任を持って取り組んでいます。

DPC コーディングでは、多職種へ興味・理解を持っていただけるよう、医療保険委員会で正しいコーディングを実施した結果どれくらい増収になるのか、そのためにはどの点を注意すべきかということを知りやすく伝えられるよう心がけております。

Q 今後の目標

私自身知識不足でありまだまだ未熟ではありますが、常日頃からトレンドを追いかけ、業務改善・新たな取り組みを行い、病院の発展に貢献できるよう日々精進していきたいです。

新任教授の紹介

令和7年1月1日就任

救急・災害医学講座

高橋 学 (たかはし がく)

昭和52年5月26日
宮城県仙台市出身



教職員への自己PR

2025年1月より救急・災害医学講座 講座内教授を拝命いたしました。これまでも当講座に在籍しておりましたので院内の教職員の方々には大変お世話になっており、引き続きかわらぬご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

私は研究面といたしましてはエンドトキシンやプレセプシンといった敗血症診断マーカーの開発を行い、臨床面としては多発外傷や重症敗血症を専門分野としてまいりました。さらに救急の現場では、様々な興味深い疾患の患者様が搬送されてまいりますので、ときに自分の専門分野以外の患者様を担当することもあります。例えば自家醸造症候群という私自身もテレビ番組でしか見聞きしたことのなかった症候群ですが、実際この患者様を担当した際に治療法などを精査してみると、まだまだ原因などが十分究明されていないことが分かりました。現在発症のメカニズム、腸内細菌叢との関連などについて共同研究を開始している段階ですが、あらためて救急の現場というのは興味深いテーマに溢れているなど感じさせられる経験でありました。医師として広く様々な症例を経験する“臨床”はもちろん大切ですが、1つのテーマを掘り下げる“研究”もなかなか面白いものです。特に若い先生方や学生の方々に“研究”にも興味をもっていただける環境作りを今後もお手伝いできればと思います。

主な経歴

平成15年3月 岩手医科大学医学部卒業
4月 岩手医科大学救急医学講座入局、大学院入学
平成19年3月 大学院卒業、博士号取得
4月 岩手医科大学救急医学講座 助教
平成30年10月 岩手医科大学救急・災害・総合医学講座
救急医学分野 講師
令和4年1月 岩手医科大学岩手県高度救命救急センター 准教授
令和7年1月 現職

研究テーマ

- ・ヒト血液中エンドトキシン測定法の開発
- ・敗血症診断マーカー「プレセプシン」の開発
- ・クマ外傷
- ・自家醸造症候群と腸内細菌叢の関係

主な著者論文

- ・ Presepsin in the prognosis of infectious diseases and diagnosis of infectious disseminated intravascular coagulation A prospective, multicentre, observational study. (Euro J Anaesthesiol 2015; 3: 199-206.)
- ・ A dextran-based warming method for preparing leukocyte-rich plasma and its clinical application for endotoxin assay. (BioTechniques 2020; 68: 300-304.)
- ・ 当施設におけるクマ外傷 50 例の検討 (日本外傷学会雑誌 2017; 31: 442-447.)
- ・ Auto-brewery syndrome caused by oral fungi and periodontal disease bacteria (Acute Medicine & Surgery 2021; 8e652.)

趣味

ゴルフ、釣り (ハゼ、シログスなど)

岩手医科大学募金状況報告

本学の事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。ご支援いただいた皆様のご協力に感謝の気持ちを込め、ここにご芳名を掲載いたします。今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。
※ご芳名及び寄付金額は、掲載を承諾された方のみ紹介しています。

学術振興資金募金

第25回目のご芳名紹介です。(令和6年10月1日～令和6年11月30日)

■ 法人・団体等 (3件)

<30,000,000>

圭陵会会長赤坂俊英 外会員一同 (岩手県盛岡市)

<700,000>

十圭会 (医10)

■ 個人 (7件)

<1,000,000>

千葉 純子 (他)

<400,000>

守田 和紀 (元教職員)

<ご芳名のみ>

大坂 美和子 (医45) 高橋 薫 (医49)

斎藤 文子 (医26) 小原 要 (父母)

斎藤 満 (医21) (順不同、敬称略)

<ご芳名のみ>

東京美装興業 株式会社 (東京都新宿区)

(敬称略)

区分	申込件数	寄付金額 (円)
圭陵会	516	240,408,220
在学生ご父母	396	95,630,000
役員・名誉教授	51	54,780,000
教職員	47	7,460,000
一般	29	488,673,572
法人・団体	317	326,505,481
合計	1,356	1,213,457,273

(令和2年9月1日～令和6年11月30日現在)

ボイラー安全祈願祭が行われました

11月6日（水）、エネルギーセンターにおいて、ボイラー安全祈願祭が行われ、理事長をはじめ本学関係者約10名が出席しました。

神官による神事では、祝詞奏上、清祓の後、本学関係者による玉串奉奠が行われ、ボイラーに対する感謝の念を深めるとともに、安全操業の誓いを新たにしました。

なお、令和6年度のボイラーデースローガンは「安全は 確かな手順とゆとりから」です。



祖父江理事長の玉串奉奠

Student Doctor 認定式が挙行了されました

11月8日（金）、大堀記念講堂において、医学部4年生122名を対象としたStudent Doctor 認定式が挙行了されました。臨床実習においてStudent Doctorとして臨床の場に第一歩を踏み出す学生が、医師としての心構えをし医療人の一員となることの責任感や使命感を再認識する節目の式典です。

式では、小笠原学長、佐々木医学部長から激励のことばがありました。学生を代表して清田 有紗さんは『医療人としての自覚を十分に持ち、謙虚な姿勢で「誠の精神に基づく誠の医療」を実践することを誓います』と力強く宣誓しました。

Student Doctor に認定された学生たちは、これから始まる臨床実習に向けて医師の道を歩む決意を新たにしました。



Student Doctor に認定された医学部4年生

附属病院主催の「健康フェスタ」が開催されました

11月9日（土）、イオンモール盛岡にて、岩手医科大学附属病院主催の「健康フェスタ」が開催されました。

当日は、岩手医科大学附属病院が補助金事業で実施主体となっている脳卒中・心臓病等総合支援センター、がんセンター、肝疾患相談センターなど各ブースでのPR活動や、地元タレントとの健康に関するステージイベントを行い、合計1,000名を超える方々にご来場頂きました。来場者アンケートでは、「健康に関する色々な情報が得られた」「血圧測定やお話も聞いてもらえて良かった」「楽しく健康について考えられた」など好評の声をたくさん頂きました。



トークショー「笑って笑って健康になろう」

マツキヨココカラ&カンパニー 奨学金授与式が挙行了されました

11月11日（月）、東研究棟1階会議室において、マツキヨココカラ&カンパニーから本学薬学部学生への地域に貢献できる優秀な薬剤師を育成することを目的とした、奨学金授与式が挙行了されました。

式では、薬学部4年生水野月花さん、横山愛理さん、5学年大森聖也さんに対し奨学金が授与され、マツキヨココカラ&カンパニーの小部真吾常務取締役と同社に入社した本学部卒業生で奨学金受給者であった高橋健太さんから激励のことばが送られました。学生からは、奨学金受給に対する感謝の気持ちと奨学生としての決意が述べられました。



左から：河野薬学部長、水野さん、横山さん、大森さん、初鹿妙子人材開発部長

女性医師と本学学生の懇談会が開催されました

11月12日(火)、アートホテル盛岡において、岩手県医師会女性医部会主催の「岩手医科大学学生との懇談会」(岩手医科大学医師会・研究者支援室設置準備委員会共催)が開催され、65名(医学部生15名、薬学部生2名を含む)が参加しました。

酒井副学長による講演「西欧史における女性治療者の足跡」では、書物から丁寧に紐解かれた、紀元前から中世に至るまでの女性医療者の活躍が紹介されました。

参加学生からは「女性治療者の歴史を社会の流れや関わり方を通じて知ることが出来た」「戦い続けてきた女性医に対するリスペクトをより強く持つことができた」「貴重な講演で感銘を受けた」などの感想が寄せられました。

酒井副学長の講演動画は、2月末日まで研究助成課の学内限定サイトに公開されています。



アートホテル盛岡「鳳凰の間」で行われた酒井副学長の講演

薬学部実務実習成果発表会が開催されました

12月18日(水)、大堀記念講堂ホワイエにおいて令和6年度実務実習成果発表会が開催され、薬学部5年生39名が22週間の実務実習(臨床実習)の成果を発表しました。

この発表会では、実務実習を経て成長した学生たちがプレゼンテーションを披露し、教員や同級生との活発なディスカッションが行われました。松浦実務実習部会長は、「自信に満ちた表情で発表し、発表時間を超える熱意あふれる内容に成長の跡が伺えた」とコメントしました。

実務実習は、薬学教育において欠かせない貴重な体験であり、学生同士が実習内容を共有し、1年後に控えた薬剤師国家試験合格を目指す新たな誓いの時間となりました。



大堀記念講堂ホワイエで行われた発表会

小児科病棟に入院中の子ども達へクリスマスプレゼントが贈られました

12月19日(木)、附属病院小児科病棟において、小児病棟に入院中の子ども達とご家族に、安らぎの時間を過ごしてもらう為、一般社団法人いわてこどもホスピスからプレゼントが贈られました。

当日は、この企画に賛同した県内の企業や飲食店からお弁当、おやつ、コーヒー、化粧水等のプレゼントが寄せられました。

赤坂教授は「付き添いを経験したご家族だからこそこのアイデア。たくさんの善意が届けられてとても嬉しい」と感謝の言葉がありました。



小児病棟「もりもり広場™」前でのプレゼント贈呈

附属病院と附属内丸メディカルセンターでクリスマスのサプライズイベントが行われました

12月23日(月)、附属病院と附属内丸メディカルセンターにおいて、クリスマスのサプライズイベント「サンタが附属病院にやってきた！」が行われました。患者さんや来院者の皆さんへ安心感とワクワク感のプレゼントと感染症対策・予防啓発を目的に開催されています。

突如現れたサンタクロースは、患者さんや来院された方々に「ステキなクリスマスになりますように」等と書かれたメッセージシールの貼られた個別包装のマスクをプレゼントしました。プレゼントを受け取った方々は、サンタクロースの登場に驚きながらも笑顔を見せ、クリスマス気分を味わったようでした。報道関係者が多く訪れ、当日の様子はメディアに取り上げられました。



プレゼントを渡すサンタクロースとトナカイ

表彰の栄誉

口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野の山田 浩之 教授と口腔医学講座関連医学分野の千葉 俊美 教授が企画・編集した英文書籍「Internal Medicine for Dental Treatments: Patients with Medical Diseases」が Doody Enterprises の評価で5つ星の最高評価を受けました

2021年3月に山田教授と千葉教授が企画・編集し、医歯薬出版から発刊した「歯科医師のための内科学」を、2024年2月にSpringer社から英語書籍「Internal Medicine for Dental Treatments: Patients with Medical Diseases」として出版しました。その英語書籍が、この度、新刊書籍を評価する組織であるDoody Enterprisesから5つ星の最高評価を受けました。本書籍はよく目にする内科疾患を取り上げ、各疾患の説明を医師から執筆し、その疾患を持ちあわせている患者さんの歯科治療の留意点を歯科医師の先生方からご執筆頂き、医師と歯科医師の両側面から執筆した画期的な専門書です。



山田教授、千葉教授

Doody Enterprisesの評価内容は、

1. 歯科医師、研修医、学生など幅広い読者を対象としている
2. 最初の章に症候学を取り上げ、次に疾患の章を適切に取り上げている
3. 全身疾患の口腔症状に対する臨床診断と治療のためのわかりやすく簡潔な手引書である
4. 全身疾患と口腔症状の関連性を説明している
5. 疾患別（呼吸器、内分泌、代謝、血液など）に構成されており、妊娠と授乳、臓器移植に関する項目も含まれている
6. 参考となる写真を多く掲載している
7. エビデンスに基づいた正当な内容である

以上が評価内容の概略です。

本書籍の出版に際して、ご執筆ご協力頂きました先生方に深く感謝申し上げます。

(文責：口腔医学講座関連医学分野 教授 千葉 俊美)

内科学講座消化器内科分野の永塚 真 特任講師が早期大腸癌研究会において最優秀演題賞を受賞しました



松本教授、永塚特任講師

この度第36回早期大腸癌研究会で「分子生物学的解析によりSSL由来のMSS型大腸癌と診断した一例」を発表し最優秀演題賞を受賞致しました。

今回発表した症例は大腸癌の組織発生、発育・進展機序の一つであるserrated neoplastic pathwayを辿るはずである大腸鋸歯状病変 (sessile serrated lesion) が、serrated neoplastic pathwayで見られるゲノム・エピゲノム変化 (*BRAF*変異、CIMP) に加えて、microsatellite stable (MSS)、TP53変異、体細胞染色体コピー数変化というserrated neoplastic pathwayで通常みられない遺伝子異常も呈しながら癌化した病変です。このような病変は悪性度が高いとされており、研究会では白熱した議論が繰り広げられました。

本症例を発表するにあたり御指導、御協力を賜りました内科学講座消化器内科分野の松本主之教授、病理診断学講座の菅井有名誉教授、柳川直樹教授をはじめとします医局の先生方、中央臨床検査部、遺伝子解析室の皆様へ厚く御礼申し上げます。

(文責：内科学講座消化器内科分野 特任講師 永塚 真)

表彰の栄誉

内科学講座血液腫瘍内科分野の北村 佐和子 専門研修医が 日本 HTLV-1 学会学術集会において宇都宮賞を受賞しました



この度、第10回日本HTLV-1学会学術集会において、演題名「mogamulizumab及びvalemestostat後に同種移植を行ったATLの一例」を発表し、優れた症例報告に対して贈られる宇都宮賞を受賞しました。

mogamulizumabはCCR4に対する抗体製剤で、成人T細胞白血病リンパ腫に対して有効な薬剤です。一方、制御性T細胞も同時に除去してしまうことから、同種移植前投与は移植後の重症GVHD（移植片対宿主病）の発症率を増加させ、非再発死亡率を有意に増加させます。今回、同種移植の70日前までにmogamulizumab療法を行い、その後valemestostat療法でbridgingすることにより、効果と副作用を制御した上で同種移植を施行した症例を報告いたしました。Mogamulizumabの効果と副作用をコントロールする新たな方法論につながる症例報告との評価が、今回の受賞につながりました。

北村先生は、当科の大学院生として専門研修医として日々研究と臨床に励んでおります。これからの益々のご活躍を期待しております。

(文責：内科学講座血液腫瘍内科分野 助教 西谷 真来)

中央放射線部の桐内 美喜雄 主任診療放射線技師が 文部科学大臣表彰（医学教育等関係業務功労者）を受賞しました

中央放射線部の桐内 美喜雄 主任診療放射線技師は、長年にわたり本学附属病院の業務に尽力し、その功績が顕著であったとして、令和6年度の医学教育等関係業務功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。

桐内主任診療放射線技師は、31年間の長きにわたり附属病院、附属花巻温泉病院、歯科医療センターで業務に精励しました。業務に対する責任感や正義感が非常に強く、常に患者さん中心の医療を心掛け、その気配りや勤務態度は後輩の模範となりました。また、職場の円滑な運営に貢献する術を兼ね備え、スタッフの育成と指導力を高く評価される等、附属病院の医療を支えてきた功績が認められ、表彰されました。



桐内主任診療放射線技師、祖父江理事長

西8階A病棟の乙茂内 博美 看護師が 文部科学大臣表彰（医学教育等関係業務功労者）を受賞しました



乙茂内看護師、祖父江理事長

西8階A病棟の乙茂内 博美 看護師は、長年にわたり本学附属病院の業務に尽力し、その功績が顕著であったとして、令和6年度の医学教育等関係業務功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。

乙茂内看護師は、小児科、呼吸器・アレルギー膠原病内科、呼吸器外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、口腔外科を経験し、その知識と技術を活かし37年の長きにわたり看護師業務に精励しました。看護職のみならず医師や他職種からの信頼も厚く、これまで培ってきた看護経験に基づき、後輩育成や看護学生、医学生などの実習対応にも尽力されました。周囲のロールモデルになる等、附属病院の医療・看護を支えてきた功績が認められ、表彰されました。

1. 教員の人事について

薬学部医療薬科学講座創剤学分野 准教授
杉山 育美（前 同分野 講師）
（発令年月日 2024年12月1日）

1. 教員の人事について

医学部救急・災害医学講座 講座内教授
高橋 学（前 同講座 准教授）
（発令年月日 2025年1月1日）

2. 歯学部学業奨励奨学金規程の一部改正について

令和7年度入学者より適用される岩手医科大学歯学部特待生規程及び岩手医科大学歯学部同窓生学納金減免規程の適用に伴い、対象学年の給付を段階的に適用しないこととし、歯学部学業奨励奨学金規程の一部を改正することを承認した。
（施行年月日 2025年4月1日）

3. 薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程の廃止及び薬学部学業奨励奨学金規程等の一部改正について

令和7年度入学者より適用される岩手医科大学薬学部特待生規程及び岩手医科大学薬学部同窓生学納金減免規程の適用に伴い、薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程は現奨学生の在籍期間は決定の取り消し及び

返還に係る条項を適用した上で最終的に廃止すること、また、薬学部学業奨励奨学金規程は令和7年度入学者より適用しないこと、薬学部育英奨学金規程は令和6年度より入学定員を削減したことに伴い、採用数を見直すこととし、それぞれ一部改正することを承認した。
（薬学部入学試験優秀者奨励奨学金規程

廃止年月日 2024年12月31日）

（薬学部学業奨励奨学金規程及び薬学部育英奨学金規程
施行年月日 2025年4月1日）

4. 岩手医科大学学則の一部改正について

令和7年度の医学部入学定員等の臨時的な増加の取扱いについて、これまでと同様に35名（岩手県地域枠）の臨時定員増が認可されたことに伴い、学生定員を変更することとし、岩手医科大学学則の一部を改正することを承認した。

（施行年月日 2025年4月1日）

Bブロック外来（精神神経科）

Bブロック外来は、医師16名、看護師7名、受付事務員3名で構成されています。また、公認心理士や医療ソーシャルワーカーおよび薬剤師などの多職種と連携し、患者さんに必要な医療サービスが提供できるように心掛けています。特定機能病院における精神科治療として、県内はもとより県外からの精神疾患に関連した身体合併症のある患者さんの診断・治療のほか、修正型電気けいれん療法を目的とする患者さんを受け入れています。更に、精神疾患を抱える妊産婦には、妊娠や出産・子育てにおける不安に寄り添いながら、安心・安全に医療が受けられるように、家族を含めた支援を行っています。

思春期から青年期に移行する18歳前後の対象者が増えており、周囲の環境・社会生活への変化に伴い精神的・情緒的不安定のリスクを伴う患者さんに、

医師と情報共有しながら診察の支援を行っています。幅広い年齢層を受け入れており、患者さんと家族の思いに寄り添いながら倫理観をもった質の高い外来看護を提供しています。

（主任看護師 宮守 優）



西9階B病棟

西9階B病棟では、消化器疾患・肝疾患の患者さんに対して内視鏡治療やラジオ波焼灼術、化学療法などが行われています。緩和治療を受ける患者さんも療養しており、医師や看護師、薬剤師など多職種で情報交換を行い、患者さんに寄り添った看護に努めています。緊急入院が多く円滑なベッドコントロールを図るため、早期から退院支援看護師に介入を依頼し、週1回の多職種カンファレンスを開催することで退院後の生活を見据えた支援を行っています。また、長期療養や治療に伴う安静によりADL^{*}低下に至る患者さんも多く、看護補助者やナースアシスタントと協働して清潔ケアの充実を図り、安楽に過ごせるよう支援を行っています。また、挨拶を定着させスタッフ間のコミュニケーションを良好に保ち、助け合いながら日々看護に向き合っています。

今後も患者さんやご家族の思いに寄り添い、優しさと思いやりを大切に看護の質を高めていきたいと思えます。

（主任看護師 村上 聡美）

※ADL：Activities of Daily Living（日常生活動作）



岩手医科大学報編集委員

祖父江 憲治	畠山 正充
影山 雄太	藤村 尚子
松政 正俊	高橋 慶
齋野 朝幸	阿部 俊
藤本 康之	杉下 佳子
白石 博久	石森 由樹
佐藤 泰生	菊池いな子
佐藤 仁	最上 玲子
藤澤 美穂	高橋 淳美
塩山 亜紀	阿部 祥子
細田留美子	

編集後記

2025年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年も種々の情報を発信し、本学関係者の連携に寄与できればと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。今号の特集は、診療情報管理士さんの担う役割と本学の状況に関するものでした。DPC コーディング、情報管理や診療記録の監査など、今の本学、これからの医療にとって重要かつ必要不可欠な多様な役割を果たされていることが理解できました。今後のご活躍と部署の充実を願いたいと思います。

（編集委員 松政 正俊）

岩手医科大学報 第557号

発行年月日／令和7年1月31日

発行／学校法人岩手医科大学

編集委員長／祖父江 憲治

編集／岩手医科大学報編集委員会

事務局／総務部 総務課

TEL. 019-651-5111（内線5452、5453）

FAX. 019-907-2448

E-mail:kouhou@j.iwate-med.ac.jp

印刷／河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp



歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 島田 崇史

『健口』を維持するために オーラルフレイルを予防しよう！

● オーラルフレイルとは？

オーラルフレイルとは、口の機能が健全な状態、いわゆる『健口』と『口の機能低下』との間にある状態のことを指します（図1）。オーラルフレイルの状態を放置していると、全身のフレイルやサルコペニア、低栄養などのリスク因子になることが示唆されています。オーラルフレイルを自分でチェックするツールの1つ



図1 オーラルフレイルの概念図

に、Oral frailty 5-item Checklist: OF-5というものがあります。評価項目には「残存歯の減少はあるのか」、「固いものが食べにくくなったのか（咀嚼困難感）」、「お茶や汁物などでむせるのか（嚥下困難感）」、「口腔内の乾燥感があるのか」、「滑舌の低下があるのか」の5項目があり、このうち2つ以上に当てはまるとオーラルフレイルに該当します。

● オーラルフレイルに該当したらどうする？

オーラルフレイルが疑われる患者さんには、『口の機能低下』に至っていないか詳しく評価するため、高度先進補綴科で口腔機能精密検査を実施しております。この検査は口腔機能を7つの項目に分けて評価することが可能で、「口腔不潔」、「口腔乾燥」、「咬合力低下」、「舌口唇運動機能低下」、「低舌圧」、「咀嚼機能低下」、「嚥下機能低下」といった機能低下がないかを機械や質問紙などを使用し検査します（図2）。



図2 口腔機能精密検査で使用する器具

● どのような対策があるのか？

オーラルフレイルの対策には、それぞれの機能低下に合った口腔体操があります。舌口唇の動きをスムーズにするための体操は、舌を頬の内側に強く押しつけるのを繰り返して行う舌圧訓練や、パタカラ体操などがあります。また、飲み込む力（嚥下機能）を維持していくための体操には、仰向けに寝て頭部を挙上し爪先を見続ける頭部挙上訓練や、喉ぼとけを上げたまま数秒保ち力を抜くメンデルゾーン手技などがあります。

オーラルフレイルは早期発見と、オーダーメイドされた口腔体操の継続が重要です。ご興味のある方は、お気軽にご相談ください。